

# いちご情報館

strawberry  Info Pavili



※ いちご展示温室では、栃木県が開発した閉鎖型養液栽培装置により、いちごを栽培しています。

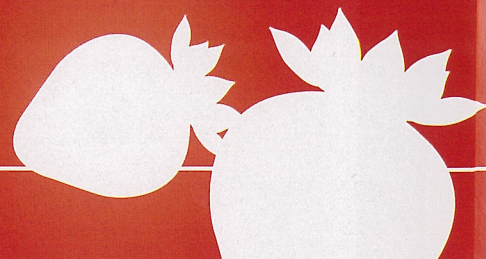


よるいんや  
いちご王国  
とちぎあひく



# いちご情報館

Strawberry  Information Pavilion

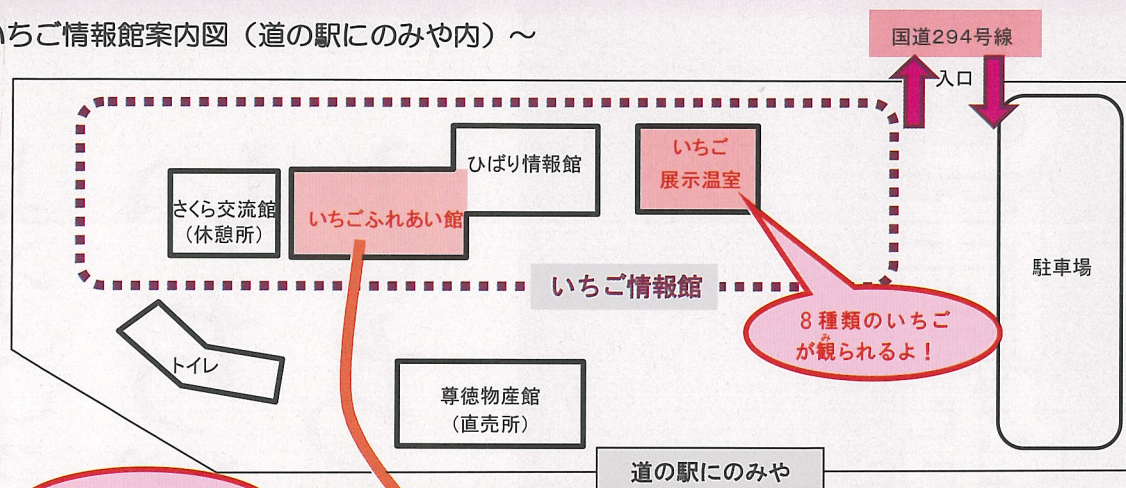


栃木県は、いちごの作付面積・収穫量・出荷量・産出額が日本一。まさに“いちご王国”です。

「いちご情報館」は、「とちぎのいちご」の素晴らしさ、おいしさをより多くの方に知っていただくため、平成21年12月に栃木県真岡市「道の駅にのみや」内に開館しました。

映像やパネル・クイズなどにより、いちごのさまざまなことを楽しく学ぶことができます。また、ガラス温室では、実物のいちごを栽培展示しています。「いちご」の品種の違いや香りを楽しんで下さい。

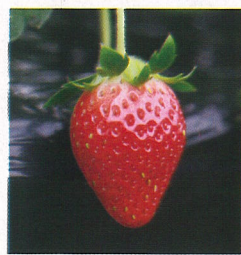
～いちご情報館案内図（道の駅にのみや内）～



とちまるくん  
(栃木県元気ニコニコ係リーダー)



## いちご王国「とちぎ」



「とちぎのいちご」は日本一！収穫量はなんと44年連続で全国1位！その他、産出額や作付面積、出荷量も全国1位です。

## とちぎ生まれの「いちご」たち



「いちご」たちとちぎ生まれの「いちご」は主に4種類。代表的なのは「とちおとめ」。日本中で収穫されるいちごの約3分の1を占めています。

「なつおとめ」は夏から秋に収穫できるいちごとして開発されました。

「女峰」は「とちおとめ」が登場するまでの約10年間本県の主力品種でした。

そのほか、市場に出回らない幻の品種「とちひめ」などがあります。これら4種類の「いちご」は栃木県いちご研究所で生まれました。

## 新品種「スカイベリー」

平成24年9月に商標登録された期待のニューフェイス。果実が平均26gと大きい



のが特徴で、酸味が少なく甘さが際立ちジューシーで上品な味わい。今後の栽培拡大が期待されます。

## 大切な「パートナー」



「いちご」の栽培に欠かせないのが「ミツバチ」です。受粉作業のため、ミツバチは「いちご」の花の上でクルクルと回るように動きます。このようなミツバチの行動によって形の良い「いちご」ができるのです。

＜場 所＞  
道の駅にのみや内

＜開館時間＞  
9:00～18:00 まで  
※季節により変動あり

＜アクセス＞  
北関東自動車道  
真岡 IC より約 15 分  
または桜川筑西 IC  
より約 20 分

＜問い合わせ＞  
道の駅にのみや 栃木県真岡市久下田 2204-1  
TEL 0285-73-1110